

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 科目名: <b>税理士のための財務諸表論Ⅲ</b>  |   | 科目コード   | EJ28   |
| 科目主査: <b>齊藤 聡</b>  |   | 単位  | 2  |
| 担当講師: <b>宮地 昌之、依田 朗裕</b>   |   | 配当年次  | 3・4  |
| 授業の目的と概要   | グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし   | 個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし | カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要 |
| <p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けることです。また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることです。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要となるが、EJ26～EJ30(税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ)を学習することで、全範囲の基礎学習が完結します。簿記の基礎知識が必要のため、「税理士のための簿記論」と同時履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨します。*EJ27(税理士のための財務諸表論Ⅱ)からの継続授業となります。税理士になるために、大学院への進学も勧めています。</p> |   |   |  |
| 履修の前提となる科目   | <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし  | 科目名:  |  |
| 履修の前提となる知識<br>その他特記事項  | 事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。  |   |  |
| テキスト   | 『税理士 財務諸表論の教科書&問題集(3)』TAC税理士講座(編),TAC出版   |   |  |
| この科目の到達目標  | <p>① 財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。</p> <p>② 企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。*EJ26～EJ30(税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ)全体としての到達目標となる。</p> |   |  |
| 成績評価の方法  | 授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。   |   |  |
| 事後学習   | 授業中に取り上げられる会計処理は限られます。新聞、情報、ネットを利用して最新情報にあたりましょう。   |   |  |
| 事後学習の参考文献  | <p>『新版 会計法規集[第11版]』中央経済社,2019年</p> <p>『税理士 財務諸表論 理論答案の書き方 第5版』TAC税理士講座(編),TAC出版</p> <p>『税理士 財務諸表論 計算問題の書き方 第5版』TAC税理士講座(編),TAC出版</p>                      |   |  |
| スクーリング受講時に用意するもの   | <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓(大きめが望ましい)                        |   |  |